

部局名	上下水道局	所属名	給排水相談課	所属長名	竹平 裕二	電 話	483-6156
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9851		事務事業名称	水洗便所改造資金貸付金						短縮コード	経常	9851	臨時	
予算区分	会計	62	公共下水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	04	投資	目	01	長期貸付金		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市水洗便所改造資金貸付条例							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
・昭和51年度から実施。改造資金の一時的な負担緩和。 ・平成20年度より公営企業法適用。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	6本の柱（章）	05	第5章快適生活都市をめざして						
未接続件数が毎年減少している。						大項目（節）	04	第4節下水道						
						中 項 目	01	1. 下水道						
						小 項 目	02	(2)汚水排水の整備						
						細 項 目	02	②水洗化の普及						
					実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	整備済区域内の未接続世帯等							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 既設の汲取便所または浄化槽便所の改造資金の貸付け。							
	※平成24年度に計画していること： 既設の汲取便所または浄化槽便所の改造資金の貸付け。							
意図 （何を狙っているのか）	改造経費の一時的な負担を無利子貸付けにより軽減する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	未接続件数（年度末状況）	件	1, 008	900	931	850	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	貸付件数	件	2	4	3	10	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	貸付金額	円	600, 000	1, 200, 000	710, 000	3, 000, 000	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		9851	事務事業名称	水洗便所改造資金貸付金			所属名	給排水相談課
			単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	600	1, 200	710	3, 000	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			水洗便所改造資金貸付金600千円	水洗便所改造資金貸付金1, 200千円	水洗便所改造資金貸付金710千円	水洗便所改造資金貸付金3, 000千円	
人件費 (B)			千円	2, 686. 8	2, 513. 7	2, 622. 1	2, 622. 1	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	3, 286. 8	3, 713. 7	3, 332. 1	5, 622. 1	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		生活困窮世帯や経済的支援を必要とする世帯へ，水洗化の普及を図るため有効な事業である。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		未接続件数は毎年減少しているが更なる普及拡大を図る。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		「無利子」の貸付事業のため民営化には向かない。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		無利子貸付制度を活用することにより未接続世帯に対して改造費の負担が一時的に軽減することが可能となる。				
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☒ 有効性向上の可能性はある						
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性がある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等		貸付金予算額を増額し，貸付希望者への対応を図る。					
		☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用							
		☒ I T化等の業務プロセスの見直し							
		☐ 受益者負担の見直し							
		☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
		☐ 上記以外の方法			2		実施主体 (所管部署)		
		⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある					
	☒ ない								

コード	9851	事務事業名称	水洗便所改造資金貸付金				所属名	給排水相談課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			貸付制度の周知を図り，水洗化の促進に努める。また，貸付金予算額を増額し，この制度の利用希望者への対応を図る。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☒ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			水洗化の普及を図る有効な事業であるため，貸付金予算額を増額し継続。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
水洗化に対する助成制度の問合せはまれにある。									

所属長コメント	貸付制度の周知を図ることにより，水洗化を促進し，公共下水道への未接続の減少を進める。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			水洗化の普及には有効な事業であることから，貸付金予算額を増額により，水洗化を普及促進すること。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☒ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									